

東大和三中だより

令和4年7月20日
1学期終業式号 (No. 5)
発行 東大和市立第三中学校
〒207-0016 東大和市仲原 2-7
TEL 042-564-5411

～ 自らを律し、共に学び合う生徒の育成 生きる力を育む ～

夏休みのミッションは『自己肯定感を上げる』

校長 中屋 珠美

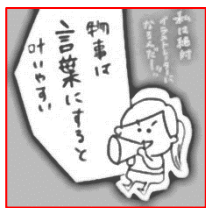
1学期初め、『2,3年生は後輩にかっこいい姿を見せるように。1,2年生は先輩の姿から学ぶように。これは、ミッションです。』というお話をしました。体育大会などの行事、部活動、学校生活の中でこのミッションは1学期についてはほぼクリアできたのではないのでしょうか。私自身、行事でも学校生活でも素敵な笑顔と、かっこいい姿をたくさん見ることができました。よく頑張り成長しました。このミッションは2学期も引き続き続けます。期待しています。

さて夏休みのミッションは『自己肯定感を上げる』です。明日から35日間の夏休みに入ります。目標を立て、計画的に過ごしてください。目標を立てるときのポイントは、ちょっと頑張ると達成できる、そこそこ手が届きそうな



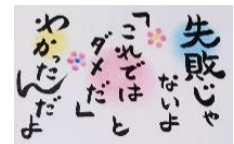
目標と達成するための計画です。早めに達成できたら次の目標と計画を立てることを忘れないように。2学期の始業式では、『ここが頑張れた』『成長できた』等の自己肯定感が上がった報告を待っています。

ところで『言霊』という言葉を知っていますか。古代、日本人は言葉が霊力を持っていると信じていました。『言霊』



によって言葉にした通りの結果が表れる、と考えられていました。現代では『アファメーション＝自分を肯定する』という意味を持つ、言葉の力を心理に活用する手法が『言霊』にとっても近いです。長い夏休み、大切なことは、『自分で限界を決めない。』ということ。限界を決めた時点でそれ以上の成果はありません。ましてや『無理～』『だめだ～』なんて言う言葉を発してはいけません。結果がマイナスのほうに行ってしまいます。逆に『ちょっと明日から頑張ってみよう！』

『私はできる子!』など良いイメージ、自分を奮起させる言葉をどんどん言葉で発することで、成果に近づけていってほしいです。保護者の方も言葉がけをされる際は、肯定的な言葉がけのご協力をお願いします。



最後にお知らせとご協力のお願いです。

- 【1】 本日、通知表を渡しました。今年度の所見ですが、『教員の働き方改革』の一つとして、1学期は終業式後すぐ三者面談がありますので、簡略化し、詳細は面談でお話いたします。2学期は三者面談後に終業式ですから、通知表の所見はなし、とします。3学期は従来通り所見を記入いたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- 【2】 熱中症・新型コロナウイルス感染症にかからないよう、こまめな水分補給と人と三密の回避、有効なマスクの着用と消毒。ご家庭でもご協力願います。今夏も猛暑です。夏休みの部活動では熱中症の対策を十分とって行います。状況によっては救急車への依頼も致します。連絡がすぐ取れるようにしておいてください。なお、新型コロナウイルス感染症で濃厚接触者、陽性者となった場合は学校にご報告をお願いいたします。
- 【3】 夏休みは例年、中学生の水難事故・自転車の交通事故が増加します。また、SNSによるトラブルや性被害も同様です。とにかく命を守ることが優先です。警察への連絡・相談後に学校へご連絡ください。